



安全データシート (SDS)

パシフィックビームモールド ウォーター110

化審法 SDS JISZ7253 対応版

製造者情報

会社名： 株式会社エム・アイ・シー
住所： 神奈川県横浜市金沢区東朝比奈 2-2-15 (本社)
神奈川県横浜市金沢区福浦 1-8-33 (福浦支店)
担当部門：ケミカル事業部
TEL：045-353-8931 (福浦支店) FAX 番号：045-353-8932 (福浦支店)
緊急連絡先： 担当部門に同じ
作成・改定： 平成 28 年 3 月 1 日

製品名

パシフィックビームモールド ウォーター110 (PBM-W110)

物質の特定

水系用 抗菌・防カビ剤 (工業用殺菌剤)

GHS 分類

引火性液体：	区分外
酸化性液体：	分類できない
金属腐食性：	分類できない
急性毒性・経口	区分外
急性毒性・経皮	分類できない
急性毒性・吸入 (ガス)	分類対象外
急性毒性・吸入 (蒸気)	分類できない
急性毒性・吸入 (粉塵・ミスト)	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
生殖細胞変異原生	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (単回曝露)	分類できない
特定標的臓器・全身曝露	分類できない

(反復曝露)

吸入性呼吸器有害性 分類できない
水性毒性 (慢性) 分類できない
上記に記載がない危険有害性は、対象外

GHS ラベル要素

危険有害性情報

急性経口毒性 LD50 値 > 2,000 mg/Kg (マウス)
皮膚一次刺激性 弱い刺激性 (ウサギ)
変異原生 (AMES) 陰性

危険物有害情報 (予防策)

- 1) 予防策については、「取扱い及び保管上の注意」、「暴露防止措置及び保護措置」を参照
- 2) 取扱い後、手をよく洗うこと
- 3) 保護手袋・保護眼鏡を着用すること
- 4) 環境への放出を避けること

応急措置

- 1) 応急措置については、「応急措置」「火災時の処理」を参照
- 2) 皮膚についた場合：多量の水と石鹼で洗う事
- 3) 皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断/手当てを受ける事
- 4) 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する事
- 5) 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す事。その後も洗浄を続ける事。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受ける事。
- 6) 漏出物を回収すること

廃棄

- 1) 廃棄について「廃棄上の注意」参照
- 2) 内容/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること

組成、成分情報区分(危険有害物質を対象)

区別： 混合物
化学名 成分名： 化審法による既存化学物質に該当する
国連分類：国連の定義上危険物に該当しない

応急処置

飲み込んだ場合： 口の中で洗う。意識があっても無理に吐かせず速やかに医師の手当てを受ける
吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移し、毛布等で保温安静にさせる
気分が悪い時は、速やかに医師の手当てを受ける
皮膚に付着した場合： 洗い流してから、水と石鹼で皮膚を洗浄する。作業着、保護具に付着した場合は直ちにきがえる。汚染した作業・保護着は洗浄する。皮膚刺激または発疹が

生じた場合、医師の手当てを受ける

火災時の処置

消火方法	1) 消火に際しては通常の消火用保護着を着用の事 2) 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動できない場合、容器に放水し冷却する
使用可能消火剤	霧状の水、大量の水、粉末消火剤、泡消火剤

漏出時の処置

- 1) 作業の際には適切な保護具を着用すること保護具については「曝露防止措置」を参照の事
- 2) 漏出した製品をスコップ等を使って容器に回収する
- 3) 漏出した跡を大量の水で洗い流す。濃厚な溶液が河川等の公共水系に流れ出さないように注意する
漏出物は密閉できる空容器に、砂、土、おがくずなどを用いて、回収し安全な場所に移す

取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 1) 取り扱う場合は、保護具着用のこと。保護具については「曝露防止装置」を参照のこと
- 2) 食物、飲料に近づけない
- 3) 皮膚に触れさせない。眼に入らないようにする
- 4) 容器を転倒、落下または引きずる等の乱暴な取り扱いをしてはならない。
- 5) 適切な保護具を着用する。(曝露防止装置の項を参照)
- 6) 手洗い、洗顔等の設備を設け、取扱後は十分にうがい及び手、顔等をよく洗う。作業服に付着した場合は、その汚れを良く洗い落とす
- 7) 空気清浄機等の吸入の危険がある用途での使用を行わないこと

保管

- 1) 換気の良い、直射日光の当たらない乾燥した屋内に保管する
- 2) 生活区域に近づけない

曝露防止措置及び保護措置

設備対策	屋内使用の場合、換気の良い場所ですること	
保護具	呼吸器の保護	防塵マスク、簡易防塵マスク
	眼の保護具	ゴーグル型
	手の保護具	ゴム・塩ビ等の不可侵性手袋
	皮膚及び身体の保護具	耐油性の前掛け、長くつ

物理及び化学的性質

外観：液体	色：無色～薄黄色
臭い：ほぼ無臭	水溶性：水溶性
融点：100-110 度	比重：1.0-1.06
形態：有機物	イオン系：カチオン系

危険性情報（安定性及び反応性）

引火点	引火しない
発火点	発火しない
爆発限界	(下限) なし (上限) なし
安定性・反応性	通常の取扱いでは安定
粉塵爆発性	なし

有害性情報

急性経口毒性 : LD50 値 > 2,000 mg/Kg (マウス)

財団法人 日本食品分析センター

急性経口毒性 : LD 50 値 > 2,000 mg/Kg (ラット)

急性皮膚刺激性 : P. I. I 値 = 1.0 弱い刺激性 (ウサギ)

皮膚感作性 : 陰性 (モルモット)

復帰突然変異 : 陰性 (AMES 試験)

SafePharm Laboratories (SPL) * 英国 (GLP 対応 / OECD 準拠)

環境影響情報

環境毒性

急性魚毒性 LC50 93mg/Kg (96h) (ヒメダカ)

廃棄上の注意

容器、機器を洗浄した排水などは排水溝へ流さないこと

排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物処理・清掃に関する法律に従って処理を行うか処理業者に委託をすること

輸送上の注意

運搬に際しては容器が漏れないことを確かめ、転倒・落下・凍結のない様に荷崩れの防止を確実にを行う

陸上輸送 法令に該当しない

海上輸送 船舶安全法に該当しない

航空輸送 航空法に該当しない

適用法令

消防法 : 該当せず

労働安全衛生法 (特定化学物質) : 該当せず

(有機溶剤) : 該当せず

(有機物質) : 該当せず

(表示物質) : 該当せず

毒物法 : 該当せず

P R T R 法通知対象 916 物質 : 該当せず

水環境に向けた取組みのための要調査

(1998 年環境庁報道発表要調査項目 300 項目) : 該当せず

環境庁 「環境ホルモン戦略計画 S P E E D '98」 : 該当せず

(内分泌攪乱作用を有すると疑われる化学物質全 70 化学物質)

その他

特になし

*記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また、新しい知見によって改訂される事があります。特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。

*安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものであり、ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。